

私はアメリカ(マサチューセッツ州)の小さな町で育ちました。誰もが町に住んでいる皆のことを知っており、警察官、消防士、金物屋のオーナー等も顔見知りです。素晴らしい場所でした。

大学入学を機に東京へ引っ越した時には、会ったことがない教授と一緒に新しい大学で勉強を始めるには自分の語学力や文化的な知識が足りないのではな

い心配でした。日本では20年以上暮らしたことは、東京は大都市ではなく小さな町の集合体だということです。世田谷区では上祖師谷・千歳台・弦巻・駒沢に住みましたがそれぞれ個性があり、それぞれの



▲種から育てたゴーヤです!

場所では近所の方々の交流で良い関係を築くことができました。そして近くにある魚屋さん、肉屋さん、豆腐屋さんとのコミュニケーションで私が築いた関係は私の幼い頃の小さな町とよく似ていることが分かりました。ここに住む前は大都市での生活に馴染まないのではないかと不安でしたが、今では世田谷区が第二の故郷になりました。



『マイ・スモール・タウン』

パーカーシヤノン (五十代・駒沢在住)

世田谷区不要品持ち込みスポットを見学しました!

不要品持ち込みスポット

住所 喜多見1-4-2
営業時間 9:00~17:00
定休日 火曜日・年末年始



世田谷区不要品持ち込みスポットは、区と株式会社ジモティーが、粗大ごみのリユースを促進し、ごみの減量を図ることを目的とした実証実験を行うスポットです。ここには家具や家電、レジャー用品、子供用品等まだまだ使えるモノがたくさん持ち込まれます。



▲不要品のジャンルは様々です。

新品もしくはそれに近い状態で使用可能なものを粗大ごみとして出してしまうより、欲しい方に使っていただくことでごみの減量、収集経費の削減等の効果の検証を令和4年度末まで行っているとのこと。

持ち込み件数は月に2,000件余で、そのほとんどが無償(0円です!)か廉価(100円~500円程度)で希望者に譲渡されています。取材当日もたくさんの方でにぎわっていました。

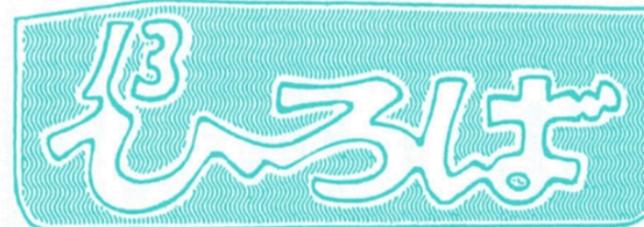
※持ち込みは予約制となっています。詳しくは上部の二次元コードまたは下記のURLよりご確認ください。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kurashi/004/010/d00193583.html>

◇こまどめまつり
10月15日(土)・16日(日)
駒留八幡神社(上馬4-1-35)
にて行われます。ご家族お揃いで。

今号を無事に発行することができ、胸をなで下ろしています。編集委員の研修もこの2年間コロナ禍の中、控えていましたが、何処か行ける場所はないかと考え、身近な豪徳寺から再開させました。研修当日は青空の下、世田谷のオアシスを堪能。都会という立地でありながらとても静かなお寺でした。境内の三重塔には十二支とともに彫られた招き猫の姿が隠されているのをご存じですか?全部で3匹隠れているそうですよ。豪徳寺に訪れた際には、三重塔のまわりを廻ってネコを探してみたいか

編集後記



上馬地区キャラクター

本紙は世田谷区のホームページでもご覧いただけます!

13ひろば 検索

発行 13ひろば編集委員会
責任者 松本 道子

事務局 上馬まちづくりセンター
住所 世田谷区上馬4-10-17

電話 03(3422)7415
FAX 03(5486)7668

上馬複合施設特集 その4

上馬まちづくりセンターって?

上馬まちづくりセンターでは、身近な行政拠点として、上馬地区のまちづくり活動や防災に取り組んでいます。

そして、区の窓口としての業務も一部行っており、**区役所に行かなくてもこちらで証明書発行や手続きができるものもあります!**

発行できる証明書

- ・本人または同一世帯分の**住民票の写し**
- ・**印鑑登録証明書**
- ・特別区民税・都民税の本人の**課税証明書** など

可能な手続き

- ・本人または同一世帯分の**国民健康保険証などの再交付**
- ・**母子健康手帳の交付** など

▼まちづくりセンター職員



まちづくりセンターでのみ行っている業務もあります!

- ・車いすの貸し出し
- ・高枝切りばさみの貸し出し
- ・ごみ散乱防止ネットの助成 など



まちづくりセンターの業務や手続きに必要なものなど、詳しくは下記までお問い合わせください!

TEL: 03-3422-7415

上馬まちづくりセンター
住所 上馬4-10-17
開庁時間 8:30~17:00
閉庁日 土、日曜日・祝日・年末年始